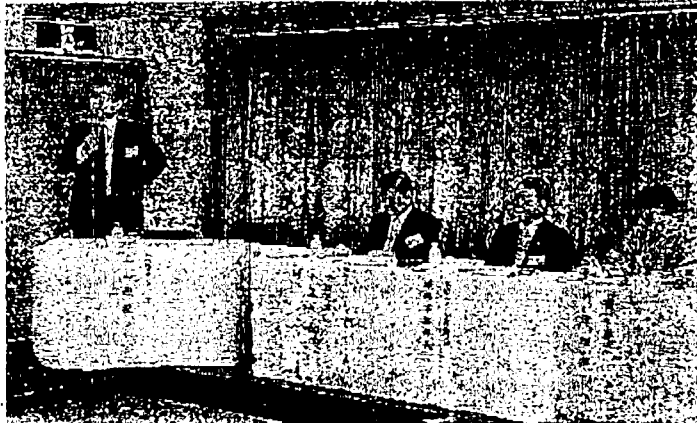


H18. 7. 27 神奈川

川 新 聞 2006年(平成18年) 7

約140人が参加した県西地域懇談会



観光業と他産業 連携の必要訴え

小田原で県西地域懇談会

観光業と他産業との連携を促す第一回県西地域懇談会が二十六日、小田原市本町の小田原市民会館で催された。県経営者協会会長高橋浩生(たかはし ひろゆき)が主催で、約百四十人が参加した。

慶応大学教授で地域改革プロジェクトリーダーの上山信一(のぶいち)さんが冒頭、熊本原(くまもと)の黒川温泉で行われているスタンプリングを好例

館や美術館などの施設は「海軍での温泉医療の取りこぼしがあるが、一緒に取り組む」と訴えた。 (武蔵 龍太)

小田原市の小澤良明市長は「長い歴史の中で、観光は箱根、商業は小田原という考えがあったが、観光にも一度目を向けていく必要がある」と話した。

富士写真フイルム神奈川工場(フジフィルム)の川工場の服部徹(はらひ ととむ)事務部長は、同社の環境保護団体への支援事業を紹介した。また、特定非営利活動法人(NPO)法人「エイミック」の二見康一(ふたみ やすし)副理事長は、静岡県熱

続いで、県西部の観光関係者を交えパネルディスカッションを実施。箱根湯本旅館組合の竹沢政子(たけすけ まさこ)理事は「箱根には旅